



# IRPA 会報

放射線防護の専門家による、放射線防護の専門家のための

第16号  
2017年12月  
© IRPA



20-23 MAY 2018  
MELBOURNE CONVENTION & EXHIBITION CENTRE  
5TH ASIAN & OCEANIC IRPA REGIONAL CONGRESS ON RADIATION PROTECTION  
Key Issues in Radiation Protection | Evolving Standards, Risk Perception & Opportunities

(Brad Cassels, AOCRP-5議長、ARPS会長)

2018年5月20日から5月23日にかけて、第5回アジア・オセアニアIRPA放射線防護会議(AOCRP-5)がオーストラリアの知的都市、メルボルンでの開催について発表することを光栄に思います。最初のAOCRPが2002年にソウルで開催され、その後北京、東京、クアラルンプールでも開催されました。この会議のテーマは「放射線防護の重要課題: 進化する基準、リスク認識と機会」です。

AOCRP-5は、国際放射線防護学会(IRPA)とオーストラリア放射線防護学会(ARPS)が主催します。会議のプレジデントであり、主催者は、現在ARPSの会長であるBrad Cassels准教授です。地元組織委員会はCameron Jeffriesが議長を務め、科学プログラム委員会はTony Hooker准教授が議長を務めます。

AOCRP-5は、放射線防護の重要課題、進化する基準、そしてそのような変化がどのようにリスクと機会をもたらすかを議論することを目指しています。世界保健機構(WHO)では、電磁放射(静電場から光子まで)や音響放射(超音波および低周波)を含む非電離被ばくに対する防護の国際的枠組みを策定してきました。この活動は、科学的証拠に基づく明確なガイダンスを求める国連加盟国が動機づけとなりました。地域間のギャップやガイドラインの国際的多様性が非電離放射線の国内規制を担当する規制当局者や政策立案者にとって難題であることがわかってきました。リックティンカー博士はメルボルンのAOCRP-5で、この非常に重要なテーマについて発表する予定です。フルプログラムには、3日間の有益かつ科学的なプレゼンテーション、リフレッシュャーコース、トレードショー、ソーシャルファンクション、授賞式、カンファレンス後のテクニカルツアーが含まれています。

当会議は、アジア太平洋地域における2018年のIRPA地域会合で、電離放射線および非電離放射線のすべての適用分野における放射線安全問題について議論する機会を提供します。放射線安全の専門家は、基準の進化、医療放射線の応用技術など複雑な放射線技術の急増、逼迫する環境資源、増加する法令監視など、継続的な課題に直面しています。科学的プログラムには、リフレッシュャーコース、口頭発表、ポスター発表、若手研究者賞、WHO、IAEA、AOARP、IRPA 関連学会に関係する特別セッションが含まれています。

当会議のサブテーマは<http://www.aocrp-5.org/program/>でも見ることができます。

この「IRPA会報」の日本語訳は、IRPAの公式的な翻訳ではありません。そのため、IRPAはその正確性を保証するものではなく、またその解釈や使用がもたらすいかなる結果についても、一切責任を負いません。

This Japanese translation of "IRPA Bulletin" is not an official IRPA translation; hence, IRPA does not guarantee its accuracy and accepts no responsibility for any consequences of its interpretation or use.

## IRPA出版委員会

委員長 Christopher Clement • 副委員長 Bernard LeGuen • 会報編集担当 Chunsheng Li & Ali Shoushtarian • 加盟学会連絡担当 Adelene Gaw • ウェブサイト管理運営担当 Andy Karam & Chris Malcolmson • ソーシャルメディア対応担当 Sven Nagels & Chris Malcolmson • メディア情報収集担当 Sven Nagels, Young-Khi Lim, Takatoshi Hattori • プロシーディングアドバイザー Haruyuki Ogino



我々は、会議の見出しの3名の基調講演者を見て、誇りに思っています。Carl Magnus Larsson博士は、オーストラリアの放射線防護および原子力安全機関(ARPANSA)の最高経営責任者です。ミロスラフ・ピナク博士は、オーストリアの国際原子力機関(IAEA)の原子力安全保安部放射線・輸送・廃棄物安全部門の放射線安全・監視部長です。赤羽啓一博士は、量子・放射線科学技術研究所の放射線測定・線量評価室の外部線量測定チームリーダーです。その他のスピーカーには、放射線の安全性と保護に関する多くの主要人物が含まれます。

この素晴らしいテクニカルコンテンツだけでなく、業界の同僚とのネットワーク作りの機会も充実しており、フル参加登録者にはいくつかの懇親会も含まれています。

会議のウェルカムレセプションは5月20日、サウスバンクのメトロポリスで開催され、これはフル参加登録の中のプログラムに含まれています。1日券とゲストチケットの利用者も追加料金を支払うことにより参加できます。カナッペや十分な量の食品、飲料が提供されます。夜はリラックスしたり、楽しんだり、古い友達と旧交を温めるのと同様に新しいつながりを築く素晴らしい機会になるでしょう。

会議は5月23日に歴史的なメルボルンタウンホールで行われるガラディナーで終わります。ガラディナーは、会議のソーシャルプログラムのハイライトであり、AOCRP-5での有意義な数日間を終える素晴らしい思い出になるでしょう。ARPANSAによって運営されているいくつかの特別研究所のテクニカルツアーが会議前の5月24日にあります。場所は限られているため、参加者はツアーの場所を確保するために登録する必要があります。

会議の会場はメルボルンコンベンションアンドエキシビションセンターで、オーストラリアで最も権威のある建築及びデザイン賞を受賞しています。メルボルンのヤラ川のほとりに位置し、市の中心地に近く、メルボルンの国際空港からわずか30分の場所にあり、様々な宿泊施設から徒歩圏内です。メルボルンは魅力的な小道、素晴らしいウォーターフロント、トレンドリー地区が特徴で、たくさんのショッピングホットスポットや文化的に多様で、受賞歴もあるレストラン、カフェ、バーがいたるところにあります。

メルボルンは、穏やかな気候、たくさんの日差し、世界一流の食品、そしておそらくオーストラリアの中でも最高のコーヒーに恵まれています！

AOCRP-5は、専門家が放射線防護や原子力安全の分野における情報、知識、経験を交換するために喜んで科学的プラットフォームを提供します。この会議は、教育、訓練、医療物理学、放射線安全、原子力サービス、計装、科学技術士、科学研究、保健科学そしてこれらの分野を勉強する学生も含め、放射線防護のすべての分野で働く人々のために企画されたものです。

私たちからの提案については[www.arps.org](http://www.arps.org)を参照ください。

AOCRP-5で皆様とお会いすることを楽しみにしています。





## オーストラレーシア放射線防護学会 (ARPS)

(Cameron Jeffries, ARPS前会長)

もともとオーストラリア放射線防護学会として1975年に設立されたこの学会は、オーストラリア以外の参加者、特にニュージーランドからの参加者増加を反映して、1997年にオーストラレーシア放射線防護学会に改称されたものです。私たちは、学会メンバーが経験を共有し、仲間と意見交換する年次総会を開催します。

学会の主な目的は、放射線防護の原理・原則と放射線防護の実践を促進することであり、この目的のために、

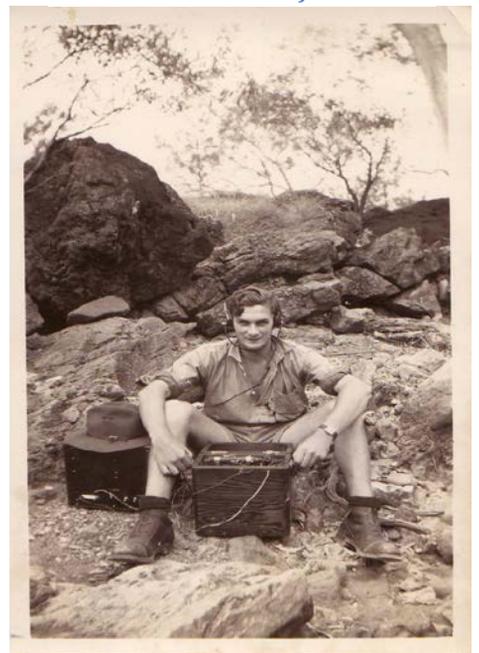
- ・職業被ばくの放射線防護基準を確立し、維持する
- ・放射線防護の活動に従事する人々の連携・協力を奨励する
- ・放射線防護に関係する話題の科学会議を提供し、支援する
- ・放射線防護分野の出版物を奨励する。

ARPSは、オーストラレーシアの医療系理工学大学やオーストラリアの労働衛生研究所と協力して、放射線防護の認証を与えるオーストラレーシア放射線防護認証機関を設立しました。

ARPSのメンバーは医療、科学、応用科学、産業、鉱業の分野において、電離放射線や非電離放射線の中で仕事をしています。また、規制当局とも仕事をします。ARPSのメンバーは、しばしば熱帯、乾燥、高山、海洋、南極の気候など、厳しい環境条件の中で実用的な問題を解決する仕事に誇りを持っています。私たちのメンバーは、学校への奉仕活動も引き受けており、国民科学週間の期間中、放射線防護の促進を図っています。

詳細については、以下までご連絡ください: [secretariat@arps.org.au](mailto:secretariat@arps.org.au); または当学会のウェブサイトをご覧ください: [www.arps.org.au](http://www.arps.org.au)

(Bob Fry operating his home made Geiger counter in the Mt Painter area of South Australia)





## **IRPA 意見公募：防護の体系は「目的に合って」いるか、また容易に伝えられるか？ 放射線防護の専門家の見解**

(Roger Coates, 大英勳章第4位, IRPA 議長)

これまでの2年間、IRPAは、防護体系に関連する現行の問題について関連学会から意見を求めて、協議を進めてき。このたび、the Journal of Radiological Protectionにメモランダムとして報告書を発表したことをここにお知らせする。[Coates et al 2017 *J. Radiol. Prot.* <https://doi.org/10.1088/1361-6498/aa9e5c>]

この意見公募は、防護体系の有効性と、関連団体に広く伝え理解される能力を持つ放射線防護専門家集団からの意見に集中して行われた。

多くの国際機関は、防護体系の進化と、それを実行するための基準やガイドラインの策定において重要な役割を担っている。しかし、放射線防護の実際的な履行は、これらの要求事項と取組みを広く一般の人々に伝えることを含む日常的に重要な役割を担っているような、事業者、医療従事者、規制者、研究者、専門家顧問らの世界中の何千もの実務者により実施されている。現在進行中の体系の開発にこの実務経験を確実にフィードバックできるようにすることは、IRPAの任務である。

今日、私たちは、今後、この報告書で提起された論点について掘り下げるために、実務者集団を代表する関連学会や国際機関と一緒に仕事をできることを楽しみにしている。

この報告書は、決して議論の終わりではない。防護体系の進化は長期的なプロセスであり、更なる意見を今後も歓迎する。そのために、全ての関連学会が、この報告書を最も広きにわたり放射線防護のコミュニティに供与し、やがて議論に加えられるであろう更なる意見や経験を重ねるよう、働きかけたい。



## 医療放射線防護国際シンポジウム, 2017年8月20日-24日

(Eduardo Medina Gironzini, ペルー放射線防護学会)

シンポジウムはペルー、アレキパのサン・アグスティン国立大学(UNSA)で開催された。参加者は、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、コロンビア、コスタリカ、チリ、キューバ、エクアドル、スペイン、アメリカ合衆国、メキシコ、ペルー、ポルトガル、ウルグアイ、ベネズエラの15か国からの221人を数えた。

シンポジウムは、ペルー放射線防護学会(SPR)の30周年式典の記念行事の一部として企画された。UNSA、PAHO、IAEA、LANENT、ALFIM他の支援を受けた。

開会式は、Eduardo Medina Gironzini (シンポジウム大会長)、Pablo Jimenez (PAHO)、Simone Kodlulovich (科学委員会、議長)、Horacio Barreda、(UNSA副学長)のスピーチで始まった。

このシンポジウムの目的は、代表的な利害関係者が集まり、現場の主要な問題を提示し、議論し、課題認識をすること、そして、Bonn-Call-for-Action(2012)とイベロアメリカ医療放射線防護会議(CIPRAM 2016マドリッド)に関する南アメリカとしての結論を提示することにあった。

シンポジウムは、モデレーターと発表者、目的をもって組織された国際的専門家の集団により、それぞれのセッションで行われた技術的な議論に着目した。各セッションは、専門会による議論を経て、CIPRAMの結論と発言者の貢献を提示した。各セッションは、既存の課題の分析と斬新な解決を検討する中で、発表者たちや出席者の最大限の相互作用を反映することで成功した。

シンポジウムでは70本の論文が口頭発表された。5本のリフレッシャーコースが提供され、多くの聴衆(1コースあたり120人)がそれを支えた。

上記の活動に加えて、チリとペルーの参加者による2国間放射線防護会議も開催された。この会議の目的は、医療分野における情報・経験共有のための国際フォーラムを開催し、これら2国の放射線防護の条件改善のための共同活動を強化することにあった。

シンポジウムの最終日には、「南アメリカにおける医療放射線防護をどのように改善するか？」と銘打った円卓会議がもたれた。このセッションには、シンポジウム会期中のいくつかのセッションの代表者が出席した。:Simone Kodlulovich (ブラジル)、Pablo Jimenez、Ileana Fleitas (OPS)、José Luis Rodriguez、Carlos Ubeda (チリ)、Juan Cardenas Herrera (キューバ)、Gustavo Sarria、Eduardo Medina Gironzini (ペルー)。

専門家たちは、国際的な協定を普及させ、専門学会とそのプロセスに関わる全ての人々の支援と協力を受けながらその適用を進めることが不可欠であると結論付けた。Bonn-Call-for-ActionとCIPRAM協定の実施に関しては、近い将来において、当初は南アメリカの協定と活動の監視に責任も有する円卓会議の参加国で構成する、医療放射線防護地域委員会の創設が必要である。さらにこのグループは、その他の機能のうち、本分野に関する次回の地域会合の実現を調整し支援するだろう。

この成功裏に終わったシンポジウムについては、ウェブサイトやSNSで見ることができる。

[www.sprperu.org/simposio2017](http://www.sprperu.org/simposio2017);

[www.facebook.com/Proteccion.Radiologica.Oficial](https://www.facebook.com/Proteccion.Radiologica.Oficial).





## 公衆の理解に関するタスクグループ

(吉田 浩子, TG 議長、IRPA 理事)

2011年の東京電力福島第一原子力発電所事故とその後の災害復旧対応を含む、これまでの緊急時対応の経験から、公衆の理解は最も重要な課題の一つであり、この課題は放射線とリスクに関するほとんどすべての公衆との接触において共通の課題です。この重要な分野に関連学会(AS)がその摘要を広げることに関する必要性和興味が高まっています。これは、カギとなるが挑戦的な活動であり、更なる支援が必要です。そこで、IRPAは以前の成果に基づき公衆理解タスクグループ(TG)を続けることにしました。今回のTGの目的は、平常時の活動、緊急時、事故後の復旧過程を含むあらゆる状況に対応してより良く適用できるような、関連学会と個別の専門家がより良い理解とコミュニケーションの課題への取り組みを支援する材料を広く共有することにあります。

私が率いている今期のTGには、前期から自発的に協力しているメンバーも含めて、14の関連学会と国際医学物理学会(the International Organization for Medical Physics, IOMP)からの15人のメンバーと一人の学生がいます。私たちは、TGの活動を、IRPAウェブサイトにある「公衆の理解」のページをアップデートするための情報収集から始めており、そこには関連学会による公衆の理解の取組を支援する教材が含まれています。それに関しては、全てのTGメンバーから多くの情報を得たいです。私たちはすぐにでもIRPAウェブサイトの公衆の理解のページを更新するべきでしょう。

私たちの活動はますます高揚していますが、この仕事に対する協力の申出は、もちろんいつでも歓迎です。

## IRPA14プロシーディング発刊

IRPA14プロシーディングの発行を報告できることは光栄です！編集チーム(Christopher Clement, Jack Valentin, 荻野晴之, Devon Foote, Julie Reyjal, Laila Omar-Nazir)に、大いなる「ありがとう」を。

これらのプロシーディングには、関連する受賞講演や会合で注目された12の話題、IRPA50周年特別セッション、20のリフレッシュャーコース、関連学会の発表を含む、244の論文と660のアブストラクトで構成されています。全部で2000ページ以上の内容を5分冊しており、次のリンク先で、それぞれ無料でダウンロードできます。<http://www.irpa.net/page.asp?id=2>



(Bert Gerristen, 学会書記長)

2018年6月4日-8日にオランダのハーグで開催予定の、第5回欧州IRPA会議への参加のご案内です。

会議の全体を通じたテーマは「放射線防護における持続可能性の展開」であり、一般的な科学プログラムの他に、以下の企画があります。

- ・若手専門家専用セッション
- ・リフレッシャーシリーズ、(一部デジタル化した)ポスターセッション、エレベーターピッチ
- ・参加者と経験や意見を交換する多くの機会
- ・あらゆる分野の技術展示と技術訪問プログラム

科学プログラム委員会 (SPC) は既に大変多くのアブストラクトを受け取ってきましたが、2018年1月7日まではあなたの参加申込みに躊躇はおりません。すでに受け付けたアブストラクトの分布は次のとおりです。

- 基礎的/一般的論点: 26%
- 産業: 11%
- 医療: 21%
- 非電離放射線: 1%
- 研究と応用: 41%

## 期限

- アブストラクト登録  
IRPA2018のアブストラクト登録期限は2018年1月7日です。もうこれ以上期限は延ばしません。  
<http://irpa2018europe.com/registration/call-for-abstracts/>
- 「早期申込み」登録  
「早期申込み」登録期限は2018年2月2日です。その日以後は、登録料が€150に上がるでしょう。  
<http://www.irpa2018europe.com/registration>

## その他の情報

更なる詳細な情報はウェブサイトにあります: <https://www.irpa2018europe.com>  
全ての会議の情報をとるために、リンクトインのIRPA2018グループに参加しませんか:  
<https://www.linkedin.com/groups/8633053>

ツイッターをフォローしてください。ツイッターアカウントは: [#IRPA2018](https://twitter.com/IRPA2018)

2018年6月4日にハーグでお待ちしています。